



より高度な臨床
より深い研究
より広い教育
より積極的な保健活動

地域医療連携室だより

Community Healthy Network News

共に診る・共に支える地域医療



縦の糸はあなた 横の糸は私
織りなす布は いつか誰かの 傷をかばうかもしれない
(糸一中島みゆきより)

退院時共同指導にて

JA秋田厚生連・平鹿総合病院

もくじ

- 総長ご挨拶……………②
- 院長ご挨拶……………②
- 診療参加型病診連携…この1年…③
- 診療参加型病診連携について…③
- 平成21年度 地域医療連携に関する業務実績…④
- 紹介患者さま受付場所……………④

病院住所／〒013-0042 横手市前郷字八ツ口3番1
TEL／0182-32-5121(代) FAX／0182-33-3200

[地域医療連携室連絡先]

- 地域医療連携室
TEL／0182-45-6012 FAX／0182-32-0698
- HP : <http://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp/>

診療参加型病診連携のすすめ



平鹿総合病院
総長

林 雅人

長く感じた冬も終り横手にもやっと春が来たと感じるこの頃です。さて、地域医療連携として平鹿総合病院が最も力を入れてきた一つに共同利用施設運営(オープンベット)があります。おかげ様で平成19年11月から動き出したオープンベットの稼働率(利用率)は当初5ヶ月程30%台でしたが平成20年4月59%、6月93%になりその後は81%~100%で推移しております。顔の見える地域医療連携室にするための広報活動として

- 1) 地域医療機関への戸別訪問の実施
- 2) 地域医療連携室だよりと地域医療連携室ニュースの発行
- 3) ホームページの更新、「地域医療連携室だより」は年2回、地域医療連携ニュースは毎月ホームページに掲載、更新しており、平均アクセス数は月243件です。
- 4) 地域医療機関の満足度も実施をしておりますが詳細はホームページを御覧ください。

かかりつけ医の推進に関しては前回、紹介逆紹介の増加を目指してとして書かせていただきました。現在の紹介、逆紹介状況は(平成22年1月31日現在)紹介患者総数4464名、紹介率28%、逆紹介率11.3%と紹介率、逆紹介率共に上昇傾向にあるがまだまだ不十分と考えております。今後も、地域医療連携、機能分化の促進を図るための地域医療機関、福祉機関とのネットワークシステムの構築が必要であります。『四疾病五事業』のうち四疾病については脳卒中連携パスが平成22年1月から当院と秋田県立リハビリテーション間で脳卒中地域医療連携パスを、試験運用されています。更に地域医療機関、福祉関係者を巻き込んだシステムの構築が必要と考えています。

今回は当院地域医療連携室でまとめたデータを紹介しながらまとめさせていただきました。

当院の救急診療に開業の先生方の応援を頂いた1年



平鹿総合病院
院長

平山 克

早いもので、平日における当院救急センターの救急患者診療に横手市医師会の先生方の応援を頂いて1年が経とうとしています。当院救急センターを夜間に受診して、普段は市内の各診療所におられるはずの開業の先生にセンターの1番診察室で会って「あれっ?」と思った市民の方も多いいと思います。

このプログラムの概要につきましては、前々回の本冊子(Vol.4)に詳しく記されていますので、本稿では重複を避けて触れません。振り返ってご覧頂ければ幸いです。西成医師会長の“決意”と医師会会員の先生方の“熱意”に支えられたこのプログラムは、一度も中断することなく継続されて来ました。病院長の立場として、横手市医師会と参加下さっております諸先生に改めて敬意を表するとともに心より感謝致します。昨年秋以降に凶らずも招来した新型インフルエンザ大流行においては、このプログラムは病院の診療戦力に絶大な力を付与してくれました。さらに、私が当初より期待しておりました、病院勤務医と医師会の先生方との“顔の見える”絆も間違いなく深まりました。横手医療圏における病診連携はまさしく正しい方向に歩んでいると確信しています。

今後とも、このプログラムが継続され内容が進化していくことを期待しています。

診療参加型病診連携…この1年



横手医師会
会長

西成 忍

横手市医師会の重点事業として、開業医が基幹病院に出向いて診療を行う「診療参加型病診連携」は、昨年4月から平鹿総合病院で18時～20時の夜間帯での診療応援が開始されてから1年が経過しました。最初の頃は診療する患者さんの選択に戸惑いもあったようですが、現在はできる限り多くの患者さんを診ることを基本にしています。未だ不慣れなパソコンでの画面操作に対する若干のトラブルも見受けられますが、当直の先生方や看護師さんのバックアップで何とか乗り切っています。時間外に訪れる患者さんの数は想像以上に多く、勤務医の先生方の献身的な御努力に対しましては本当に頭が下がります。また我々開業医会員に対して嫌な顔も見せずに付き合っている看護師さんたちにも敬意を表します。先行している日曜夜間の小児救急診療と合わせて、この事業に対する課題や問題点については定期的に検証しながら解決していきたいと思います。

もう一つの話にオープンベッドがあります。紹介した患者さんを病院の担当医と一緒に診療する形式ですが、患者さんにとっては、かかりつけ医がベッドサイドに来てくれることが安心につながっているようです。

私は以前から紹介した患者さんを病院に見舞いに行っていました。時間帯の問題や遠慮も手伝って、担当医に病状の説明を求めることはほとんどありませんでした。オープンベッドを利用するようになってからは、担当医から丁寧な説明を受けることができ、退院後の診療に役立つことが多くなりました。今後も多くの会員がこのベッドを利用されることを望みます。

今年5月からは第1、3、5日曜日の午前中に、開業医による市立横手病院での休日診療も開始されます。診療参加型病診連携事業はまだまだ始まったばかりで、この事業が病院勤務医の負担軽減に本当に役立つのかどうかは未だ不明ですが、問題点や課題を克服することによって地域の医療崩壊を防ぐための一手になることは間違いないでしょう。

診療参加型病診連携について



地域医療連携室副室長
救急センター運営委員会委員長

齊藤 研

開業の先生方が救急センターで診療するにあたり、診察する場所をなんとか確保しました。11月までは専属看護師がトリアージ・仕分けをしましたが、その後は診察医の意向を尊重し、患者さんを選んでもらうことにしました。検査・投薬のパソコンオーダーの慣れは二義的で、長年蓄積された臨床経験に最も期待しています。研修医は3年で交替しますが、先生方はもっと長期間関与されますので、漸次軌道に乗っていくものと思っています。なによりも、準備段階における勉強会の集まり方、熱気を拝見すれば頭が下がります。

現在まだ診察人数は平均すると数人ですが、当直医は助かっています。その分救急搬送症例や重症例を診ることができます。夕食を摂る時間があります。さらに、いままでは紹介状、返書のやりとりだけだった医師同士がお顔を見ることができるようになりました。

さてせっかくの機会ですので、救急患者さんの紹介搬送について、開業医の先生方へお願いを述べさせていただきます。

当院の救急診療に関し、いつも特段のご配慮をいただき感謝申し上げます。時に、地域連携室に直接FAXのみ届き、救急搬送を受けることがあります。しかし、現在まだ連携室は、救急患者さんについては対応できておりません。絶対的にマンパワー不足です。時間的に余裕のある患者さんのみを、各科外来に繋いでいる段階です。従いまして、救急車で搬送紹介される場合は、従来通り時間内であれば当該科の医師に、時間外であれば日当直医に先ず、ご連絡ください。満床時や救急車が重なったときは、まれにお引き受けできないこともあります。今後、救急紹介についてのより良い運営方法を検討してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

平成21年度 地域医療連携に関する業務実績

紹介・逆紹介・返書管理状況

項目	平成21年度	
初診患者の総数 (A)	32,209名	紹介率 28.3% $\frac{(B)+(C)}{(A)-(D)} \times 100$
文章による紹介患者総数 (B)	5,800名	
救急車による搬送患者総数 (C)	2,748名	
時間外、休日、深夜に受診した6歳未満の初診患者総数 (D)	2,027名	逆紹介率 13% $\frac{(E)}{(A)} \times 100$
情報提供加算件数 (E)	4,344件	
返書率	99.7%	
検査物等の返却率	99.4%	

開放型病床・退院時共同指導運用状況

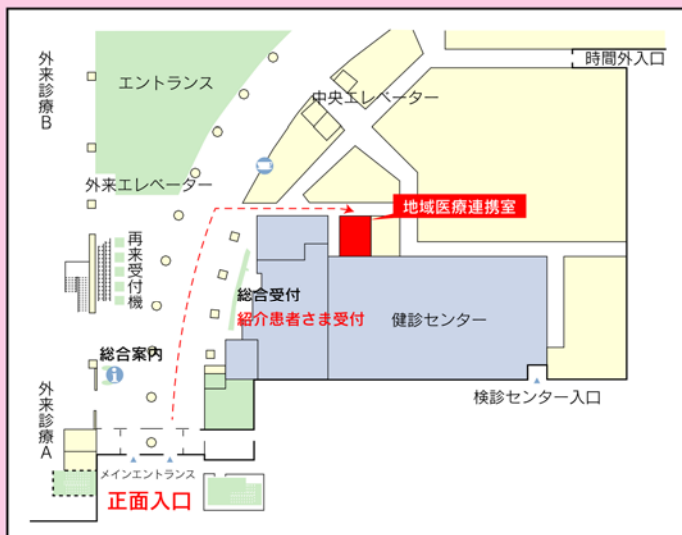
項目	総数	月平均
開放型病床延べ患者総数	2,084名	173.7名
開放型病床稼働率	95%	
登録医来院回数	162回	13.5回
退院時共同指導総数	69回	5.7回
3者(かかりつけ医+ケアマネージャー+訪問看護師)	23回	
がん患者症例	3回	

高度医療機器の医療推進状況

項目	総数
CT検査依頼	37件
MRI検査依頼	94件
RI検査依頼	89件

他医療機関へ依頼内容

項目	総数
PET-CT申し込み	94件
受診申し込み	62件
セカンドオピニオン依頼	15件



紹介患者さま受付と地域医療連携室設置場所

スタッフ

室長	高橋 俊明
副室長	齊藤 研
医事課長	小田嶋 隆
看護師長	高山 国子
事務	福田 靖子

スタッフ一同心を込めて対応いたしております。
どうぞよろしくお願いいたします。